


# 三木町だより 第8号

高松の栗林公園では2月16～17日に「梅まつり」が開催されます。  
春の訪れが待ち遠しい季節になりました。

## ＜節分ところ変われば・・・＞

2月3日は節分です。今年一年の無病息災を願って、各地でさまざまな行事が行われます。代表的なものは豆まきですね。北海道では落花生をまきますが、落花生をまくのは珍しいらしく、職場の方に驚かれました。

こちらでは節分にイワシを食べる習慣があります。また、イワシの頭をヒイラギの枝にさして玄関先に飾ると鬼が来ない、といわれています。「鬼はヒイラギの葉のトゲとイワシの匂いが苦手なので鬼よけ（厄除け）になる」という理由からだそうです。ただ、最近は飾る家がめっきり少なくなりました。



三木町史によると、昔は節分にこんにゃくを食べる習慣があったそうです。「砂おろし」とよばれ、こんにゃくには体内のいらぬものを外に出す効果があるということで、厄払いの意味があったのかもしれません。

愛媛県では、タラノキ（たらんぼの木）にヒイラギの葉をさしたものを飾る風習があり「鬼杭（おにくい）」というそうです。触ったらとても痛そう・・・思わず鬼も逃げ出してしまいますね。トゲトゲのダブルパンチで効果抜群です。

ここ10年くらいで全国的に広まった「恵方巻」ですが、香川の特産品を使った「さぬきまるごと恵方巻」が売り出されました。七福神にちなみ、レタス・金時人参・讃岐コーチン（鶏肉）・ブロッコリー・細天（かまぼこ）・卵・しょうゆ豆の7つの県産食材を使った恵方巻。今年は南南東の方角を向いてガブリ。香川まるかじりです！



三木町役場前のヒイラギ

## いか揚げ?!

みなさんは「凧揚げ」をしたことはありますか？幼い頃、凧が風に上手く乗るとどんどん昇っていく感覚がとても面白かったことを思い出します。

2月10日に隣のさぬき市で「津田の松原凧揚げ大会」が行われます。津田の伝統凧「ますいか」など色とりどりの凧たちが冬空に舞います。

讃岐弁では「凧」のことを「いか」と言うそうです。

ひらひら、ゆらゆらと空中を泳ぐ姿は、たしかにタコにもイカにも見えますね。

